

群馬県議会 リベラル群馬

# 後藤かつみ

街頭演説

2500日

## 2017年 2月定例会報告

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所  
住所 高崎市八幡町 800-24  
TEL&FAX 027-343-1393  
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com

<http://www.ccrgoto.com/>  
<http://www.eaglesgoto.com/>(スマートフォン用)

### CONTENTS

- 入るを量るも、出るは制さず～「今を優先、負担は先送り」型予算～
- 新年度主要事業の検証～「人への投資」には一定の評価～
- 問われる知事の「県民目線」～独自の世論調査をもとにコンベンション事業の県民理解度を検証～
- 障がい者雇用 企業へのインセンティブ策を

- 歳出(支出) 7,246億円(30億円↑)
- 県税収入 2,350億円(140億円↓)
- 地方交付税等 1,610億円(41億円↓)
- 県債(借金) 1,185億円(264億円↑)

収入減を借金で埋め、  
支出は逆に増加!

知事は、道路・ハコもの等の従来型公共事業を「未来への投資」と強調します。しかし、財政余力を超えて借金頼みで行うことは、将来世代の税金を「先食い」することに繋がります。将来世代が使える税金が減れば、逆に未来の成長力を削いでしまうことになりかねないことを認識する必要があります。

#### 未来への投資どころか、 未来の成長力を削ぎかねない

「入るを量って、出るを制す」  
財政運営の原則は「入るを量って、出るを制す」であり、収入が減る時には、支出も「制し」なければなりません。行政にとって「やった方がよい政策」は無限にあります。将来世代に負担を先送りしないために、「我慢」することも重要な政策選択です。

#### 「入るを量って、出るを制す」

円高の県内企業への影響等により県税収入等が180億円減少する一方で、その穴埋めに多額の借金(190億円増)を発行する等により、歳出は逆に30億円も増えるという他県に類を見ない積極型予算となっています。

#### 税収等の減を借金で穴埋め

入るを量るも、出るは制さず  
～「今を優先、負担は先送り」型予算～

#### 「人への投資」の視点からの新年度予算評価ポイント

1. 子育て支援・貧困対策	
● 第3子以降3歳児未満児保育料免除	3億5,000万円
● 子どもの居場所づくり・学習支援(子ども食堂など)	2,000万円
● 高校中退者訪問支援(再学習、就労支援)	550万円
● スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの拡充(いじめ・不登校等の未然防止等)	2億9,000万円
2. 障がい者支援	
● 特別支援学校整備・機能強化(沼田、館林等)	15億6,000万円
● 障がい者就労支援(企業への就労開拓支援等)	4,300万円
3. 若者・女性の活躍支援	
● 若者就職支援(ジョブカフェぐんま運営等)	1億4,300万円
● 女性の活躍推進(働く女性支援、両立支援等)	3,400万円
● 移住促進(ぐんま暮らし支援センター等)	8,800万円

#### 「共倒れ」を防ぐ全世代型福祉

リベラル群馬が若年層の福祉を重視する理由は、高齢者を支えるべき世代が疲弊し、支えるどころか「共倒れ」しかねない状況にあるからです。高齢者・障がい者福祉を充実するためにも、若年層・現役世代を元気にする「全世代型福祉」を提言していきます。

#### 従来型の公共投資は慎重に、 「人への投資」は積極的

リベラル群馬は、道路やハコものなどの「従来型の公共投資」は、「入るを量り」ながら慎重に行う一方、「人への投資」はむしろ積極的という立場です。その視点から新年度予算を見ると、別表のとおり、新規事業を含めた施策の充実が図られていることは評価できます。

#### 新年度予算の検証 ～「人への投資」には一定の評価～

新年度予算の検証  
～「人への投資」には一定の評価～